



高知県立大学社会福祉学部 リカレント教育講座

～ようこそ！ 知のフィールドへ～

命・危険と向き合う人々と家族の心と体を支えるために
～アメリカのMilitary Social Workの知見をヒントに～

日時：12月13日（土）10:00～12:00（受付開始 9:30～）

場所：高知県立大学 池キャンパス 共用棟2階 大講義室

※駐車場は、南駐車場をご利用ください。

参加費：無料（どなたでも）

参加方法：対面（オンライン、オンデマンド配信はありません）

〈講座の内容〉

第1部：講話

アメリカのMilitary Social Workの知見をヒントに、
命・危険と向き合う人々と家族のWell-being向上について考える

第2部：ワークショップ

Military Social Workに関する書籍展示
講師の研究や、社会福祉学部への質問コーナー



←左記の二次元コードよりお申し込みください

申し込み締め切り：12月5日（金）

【講師紹介】社会福祉学部 田中顕悟 准教授

東洋大学大学院 社会学研究科 社会福祉学専攻 博士前期課程修了、
鹿児島国際大学大学院 福祉社会学研究科 社会福祉学専攻 博士後期課程満期退学

【研究キーワード】Military Social Work、Military Social Worker養成、自死予防

【研究の概要】ソーシャルワークの一領域であるMilitary Social Workは、現役の兵士とその家族ならびに退役軍人の方々のWell-beingの向上を目的としています。アメリカ・カナダ・オーストラリア・台湾等の様々な国で実践・研究が展開されていますが、それらの知見の自衛隊での援用の可能性と具体的な方法および専門職養成について研究を進めています。

高知県立大学社会福祉学部は、社会福祉領域のプロフェッショナルを養成する四国唯一の公立大学であり、
西日本の公立大学としては数少ない、三福祉士資格取得（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士）に対応しています。

共催：日本介護福祉学会中国四国地区、高知県立大学

後援：高知県ホームヘルパー連絡協議会、岡山県介護福祉研究会



日本介護福祉学会中国四国地区 2025年度公開講座

12/14(日)

13:00～15:00

現場の声から考える訪問介護の現在地 —生活を支えるということ—

訪問介護現場の課題と具体事例を通じ、地域での支え合いの重要性を示す。さらに介護職が安心して働き続けられる環境づくりを考える。

発題者 井上 翼 氏 塩竹 美友 氏
(訪問介護事業所わらふく)

講師 上原 千寿子 氏
(元広島国際大学教授)



研修方法

会場による対面形式およびオンライン形式で行います。お申し込みの際に「会場」または「オンライン」をお選びください。

会場：高知県立大学 池キャンパス

社会福祉学部棟 1階 E102教室

〒781-8518 高知県高知市池2751-1

オンライン：お申し込みの際にご入力いただきましたメールアドレスにZoomURLを送ります。

申込方法

以下のURLまたは二次元コードでのお申し込みをお願いします。

申込締切：12月8日(月)

<https://forms.office.com/r/v0RWVakwgp>

参加費

参加費は無料です。どなたでも参加できます。

問い合わせ先

〒781-8518 高知県高知市池2751-1

高知県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科

辻 真 美

☎ 088-847-8700 (代表) 直通 088-847-8747

Email tuji_mami@cc.u-kochi.ac.jp

申込二次元コード

